

発行所 毎日新聞社 〇  
 東京本社 (東京都千代田区一ツ橋1-1-1)  
 〒100-8051 電話(03)3212-0321  
 大阪本社 (大阪府北区梅田3-4-5)  
 〒530-8251 電話(06)6345-1551  
 西部本社 (CJF)神戸市灘区北地1-3-1)  
 〒302-8051 電話(078)341-3131  
 中部本社 (名古屋市中村区名駅4-7-1)  
 〒450-8651 電話(052)521-8000  
 北海道支社 (札幌市中央区北四条西6-1)  
 〒060-8643 電話(011)221-4141

2014年 (平成26年)  
 7月31日 木曜日

THE BRAILLE MAINICHI  
**点字毎日**

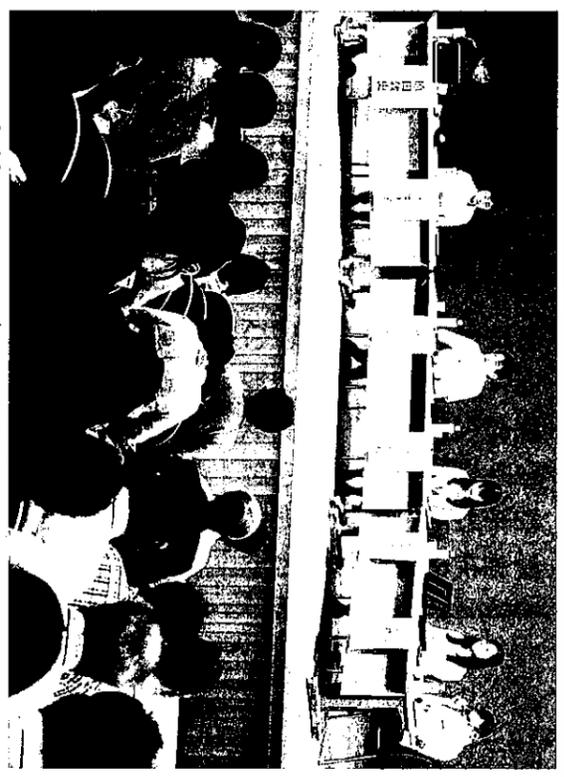
毎日新聞社

1年12,856円(本体11,904円、消費税952円)  
 半年6,428円(本体5,952円、消費税476円)  
**毎日新聞社点字毎日部**  
 電話06-6346-8386(編集)/8388(営業)  
 FAX06-6346-8386/振替口座00920-0-450  
 〒530-8251大阪府北区梅田3-4-5 毎日新聞大阪本社内

第825号 (点字版4700号対応)

毎週木曜日発行

平成10年5月18日第3種郵便物認可 年間発行回数50回



各地でのU・Hビリアの実践と課題について  
 論議したシンポジウム

# 医療関係者と連携を

## 視覚障害リハ研究発表大会

### 二つのテーマでシンポ

視覚障害リハビリテーション協会(吉野由美子会長)の第23回研究発表大会が19、20日、京都市上京区の同志社大・寒梅館で開催された。リハビリ専門職や眼科関係者、視覚障害者ら約450人が参加。シンポジウムや研究発表があり、現場での実践成果が報告された。

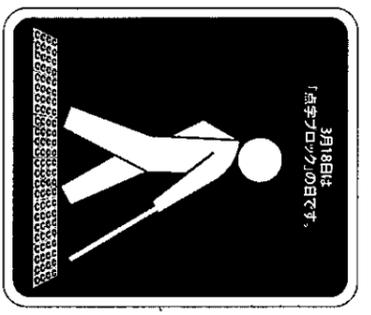
### 当事者発掘策を探る

「誰が視覚障害リハビリめるための課題や参考となる事例を5人のシンポジストが紹介した。リハビリ施設職員向けの説明会に取り組もうあるべきか」の二つは、地域の視覚障害者ンでいることを報告し、掘り起こしは施設独自のテーマで行った。前者では、リハビリ施設がない地域が多いことなど「就労継続のために」を受けられるために」もが視覚障害リハビリめるための課題や参考となる事例を5人のシンポジストが紹介した。リハビリ施設職員向けの説明会に取り組もうあるべきか」の二つは、地域の視覚障害者ンでいることを報告し、掘り起こしは施設独自のテーマで行った。前者では、リハビリ施設がない地域が多いこと

後者では、銀行員の理解がなければ職業訓練を受けたり、復職は難しい。大会開催地の岡田大丞さんから企業で働く視覚障害者2人が講演。同じ障害のある仲間と出会うことでリハビリアに積極的になれた経験から、当事者の交流の輪を作る手助けをしてほしいと口をそろえた。さらに岡田さんへは、大会が会員の情報交換と交流の場にとどまっているのではないかと指摘。「企業の

## 「大会の社会的認知高めて」

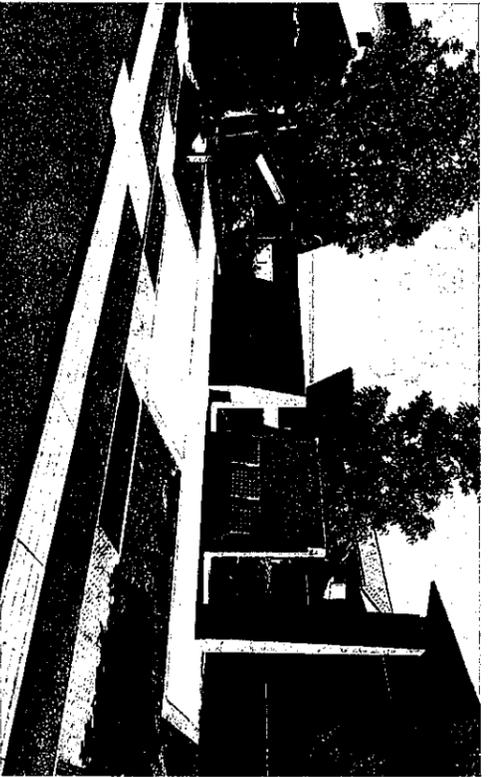
「点字フォックの日」をご存じですか?  
 これは、1967(昭和42)年3月18日「点字フォック」が世界に先駆けて岡山の地に敷設された日を記念し、社会福祉法人岡山県視覚障害者協会によって設けられました。(日本記念日協会登録)  
 「点字フォックの日」が目に障害のある人々をめぐる諸問題について考える、シンポジウムDayとなっていくことを希っています。



点字フォックのバリエーション

一般財団法人  
**交通安全試験研究センター**  
 TRAFFIC SAFETY RESEARCH CENTER, INC.

〒700-0024 岡山市北区駅元町15番1号 リットシテイビル7階  
 TEL 086-252-1212(代表) FAX 086-252-1213  
<http://www.tsirc.or.jp/>



点字フォック発祥の地ニュメント(2010(平成22)年3月18日建立)  
 MMA点字スタイル  
 (専用資料をご請求ください)